



TITLE:

アダムスミス生誕二百年

AUTHOR(S):

本庄, 榮治郎

CITATION:

本庄, 榮治郎. アダムスミス生誕二百年. 經濟論叢 1923, 16(3): 581-582

ISSUE DATE:

1923-03-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127997>

RIGHT:

京都市帝國大學經濟學會 經濟論叢

第三號 第十六卷

大正二十三年一月一日發行

論叢

サン・シ
モン派の社會改造哲學及び連帶思想

文學博士 米田庄太郎

加特力敎の社會論者に就て

法學博士 田島 錦治

階級に就いて

文學博士 高田 保馬

基督教文明の發展概論

法學博士 財部 靜治

時論

地租論

法學博士 小川郷太郎

小作調停法案に就て

法學博士 河田 嗣郎

說苑

舊岡山藩の社倉法に就て

經濟學士 黒 正 巖

雜錄

米國研究の必要

法學士 本庄榮治郎

性別年齢別失業統計

經濟學士 岡崎 文規

アダム・スミス生誕二百年

法學士 本庄榮治郎

アダム・スミス誕生二百年

本庄榮治郎

かの「國富論」によつて、經濟學の父として、不朽の名を成したアダム・スミスが、スコットランドのファイフ州なるカアコウデイーに生れたのは、一七二三年の六月五日であつて、本年は實にその生誕二百年に相當する。

カアコウデイーはエジンバラより約十二哩北に當り、當時人口千五百を有する海濱の一小都會であつた。スミスは一七三七年にグラスゴウ大學に入り、一七四〇年オックスフォード大學のバリオールカレッジに進んだ。一七四八年にエジンバラ大學に修辭學美學を講じたのが、抑もスミスが大學の教職に就く始めであつて、一七五〇年より五一年に亙る學期に於ては、經濟學

に關する講義も行はれたといふことである。後轉じてグラスゴウ大學に教授となり、道德哲學の講座を擔當し、その講義の一部に經濟學に關することも講述せられた。彼の「國富論」に並び稱せらるゝ「道德情操論」の公にされたのもこの時代である。一七六三年より彼は佛蘭西、瑞西等を旅行して大に得る所あり、一七六六年歸英の後、鄉里カアコウアイに退きて専ら國富論の著述に従事し、一七七六年三月九日倫敦で之を公にするに至つた。其後一七七八年にスコットランド税關委員となり、一七八七年にグラスゴウ大學總長に選ばれたが、三年の後、即ち一七九〇年七月十七日遂にこの世を去つた。享年六十七。即ち國富論出版後十五年であるが、その時には既に國富論は第五版を出し、また歐羅巴の主なる國語にも翻譯され、國富論の影響は、學界に於ても實際界に於ても實に偉大なるものがあつた。

經濟學的研究はもとよりスミスに始まるに非ずと雖、經濟學を以て一科獨立の學問とし、之に獨特の體系と組織とを與へ、斯學の範圍及び内容を永久的に決定したものは、即ちスミスであらねばならぬ。これ我々が今日彼を以て經濟學の父と爲す所以である。

我々は大正五年二月「有名なる人口論の著者として將た英國經濟學の基礎を据えたる三大學者の一人として、苟くも經濟學の初歩を學びし者の皆其名を知れるトーマス・ロバート・マルサス」の生誕百五十年に相當する際、關係圖書の

展觀と講演會とを開き、且つ雜誌特別號を上梓し之を記念した。又今マルサスと同じく英國經濟學の基礎を据えたる三大學者の一人であつて、而も經濟學の父とも稱せらるゝスミスの生誕二百年を迎ふ。即ち本會に於て誕生の當日、記念講演會を開き關係圖書を展觀し、尙諸家のスミスに關する論文を蒐錄せる本誌特別記念號を適當の時期に發刊するの計畫あるはもとより當然のことであらう。而して今回の舉がマルサス百五十年記念の際に於けると同じく、深甚なる影響を我が學界に及ぼすことは信じて疑はざる所である。加之嘗て英國の經濟學俱樂部に於てはスミスの百年祭が行はれた。今年の生誕二百年に當ても何等かの試みがあるであらう。東西相應じてこの偉人を記念するは、經濟學界に身を寄するものゝ愉快に堪えぬ所である。

因にスミスやマルサスと同じく英國經濟學の基礎を据えたる他の一人のリカルドオは昨年が生誕百五十年に相當し、且つ本年は歿後百年に當る。この三人者に續いて有名なるゼ・エス・ミルは本年は歿後五十年に相當す。而してミルの父ゼ・エス・ミルは本年が生誕百五十年である。此の如く本年は英國經濟學派の多數が出生若くは歿後何年に相當することは、必ずしも興味なきことでもなからう。